

研究課題番号	5-1706
研究課題名	水環境保全に向けた要調査項目の一斉評価手法の開発と要調査項目候補選定への展開
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	119,367 千円
研究機関名	東京大学
研究代表者名	栗栖 太

1. 評価者の指摘及び提言概要

精密質量分析計を用いた一斉成分分析により要調査項目のスクリーニング手法を確立したことは、水環境中の有害物質の存在状況調査に大きく貢献する成果である。懸濁態に分配されやすい物質の毒性評価についても言及している。分析できた 84 項目に、調査事例の無い 40 項目が含まれたことや、荒川では、これまで報告例の無い 28 項目を含む 54 項目が検出され、その中には PNEC より高濃度な物質が 7 種類含まれていたことなどもこの研究で初めて明らかにされた重要な知見だと思う。今後は、SPE における回収率の改善、実試料での回収率チェック、実態調査データの蓄積などに取り組んで欲しい。得られた分析手法をマニュアル化し、分析機関への技術移転、確認が必要である。

2. 評点

総合評点：A